

(3) 刊行物一覽

1 經濟研究所刊行物

イ、『東亜經濟研究所研究叢書』

山田 勇 『東亜農業生産指数の研究』昭和十七年 日本評論社 本文四〇一頁

『研究叢書』として実際に刊行されたのはこれだけであるが、このほかに原稿が完成していながら、戦禍のため出版のできなかったものに次のものがある。

資 泉 三義 『日本製粉業の展開過程』

阿部 源一 『東亜農業の基本問題』

根岸 国孝 『仏領印度支那に於ける人口問題』

ロ、『東亜經濟研究所年報』

第一輯 昭和十七年 日本評論社 本文七一七頁

なお、第二輯、第三輯も原稿は完成していたが、戦火のため灰燼に帰した。

ハ、『東亜經濟研究所報告』

第一輯 山口 茂 「支那貨幣の性格と銀行券の問題」昭和二十年

第二輯 小山 路男 「組織より見たる産報運動の發展と現状」昭和二十年

第三輯 服部 一馬 「分村計画の展開とその問題」昭和二十年

第四輯 江沢 讓爾 「仏領印度支那に於ける偏倚生産の特殊性」昭和二十年

第五輯 研究部編 「東亜經濟年譜」昭和十八年、昭和十九年

第六輯 高橋 泰蔵 「南方經濟における国民所得の推算に関する一資料」昭和二十年

第七輯 泉 三義 「印度工業化の特質」昭和二十年

第八輯 津田 隆 「北支綿業の基本的難点」昭和二十年

第九輯 研究部編 「東亜經濟年譜」昭和二十年

第十輯 増淵 龍夫 「中国郷村社会研究の若干問題」昭和二十年

二、『經濟研究』季刊

本研究所の機関紙として、一九五〇年一月に、次のような主旨をもって創刊された。

創刊のことば（第一卷第一号所収）

経済学の領域は、わが国でもふたたび多彩な展開を見せるように

なったが、現実の経済はあまりにも貧しい。貧しいだけではない、偏ってゐる。

こうした状態のただ中で、社会学としての経済学に課せられた責務や寄せられる期待は大きいはずである。われわれは、この責務を果しうるかの反省において謙虚であるとともに、その期待にこたえんとする努力においては野心的でありたい。

そのためにわれわれは、二重の意味で「土俵」の外に出なければならぬと思う。第一には、みずから「土俵」を区切り、問題や条件を限定して、AであればP、BであればQといった調子の自明の論理を繰返すことの限界を自覚しなければならぬ、現実に照してその命題が真であるか否かを検証しうる仮説をたてる勇敢さを経済学者が失つてから、すでに久しいのである。第二には、なれた「土俵」から出て、われわれの研究は世界の舞台でもまねなければならぬ。わが国の経済学があまりにもしばしば、外国経済学の紹介、解釈、考証に専念してきたことを、実践的な市井の常識は、これまた久しくあきたらず思つてきているはずである。

「経済研究」をあえて「経済の研究」としたのは、右の第一の意味において、現実の経済を対象とする態度を生かそうとするためであり、また、この季刊誌の紙面を広く世界にひらいて投稿をもとめることにしたのは、右の第二の意味において「土俵」の外に出るためである。

この主旨に賛同される江湖の士が、鞭撻と叱正を惜しまれないことを希望する。

一九五〇年一月

一橋大学経済研究所長 都留重人

経済研究第三一巻第三号（一九八〇年七月）に特集としてシンポジウム「経済研究」：回顧と展望および第三〇巻第四号までの総索引がおさめられている。

ホ、「経済研究叢書」

本研究所員の研究成果は、次の通り「経済研究叢書」として刊行してきた。

1. 大川 一司『生活水準の測定』
A 5 一四四頁 岩波書店 昭・28・8
2. 小原 敬士『アメリカ独占資本主義の形成』
A 5 九九頁 “ 昭・28・9
3. 大野精三郎『ジョーンズの経済学』
A 5 二七一頁 “ 昭・28・9
4. 篠原三代平『所得分配と賃金構造』
A 5 一六二頁 “ 昭・30・2
5. 高橋長太郎『所得分布の変動様式』
A 5 一五四頁 “ 昭・30・7
6. 山田勇 編訳トリグヴェ・ホルヴェルモ著『計量経済学の確率的接近法』
A 5 一六〇頁 “ 昭・30・9
7. 大川 一司『日本経済の成長率』
A 5 一六九頁 “ 昭・31・2
8. 岡 稔『ソヴェト工業生産の分析』
A 5 二二九頁 “ 昭・31・5

9. 野々村一雄『国民所得と再生産』
A 5 三〇八頁 “ 昭・33・3
10. 松川 七郎『ウィリアム・ベティ』上巻
A 5 二〇六頁 岩波書店 昭・33・9
11. 石川 滋『中国における資本蓄積機構』
A 5 二二〇頁 “ 昭・35・11
- 別冊 経済研究所編『解説日本経済統計』
B 5 一九二頁 “ 昭・36・1
12. 津田内匠訳『チュルゴ経済学著作集』
A 5 一六三頁 “ 昭・37・2
13. 梅村 又次『戦後日本の労働力——測定と変動——』
A 5 一三一頁 “ 昭・39・1
14. 松川 七郎『ウィリアム・ベティ』下巻
A 5 二一五頁 “ 昭・39・2
15. 本田 創造『アメリカ南部奴隷制社会の経済構造』
A 5 二六六頁 “ 昭・39・3
16. 溝口 敏行『消費関数の統計的分析』
A 5 二二七頁 “ 昭・39・11
17. 高須賀義博『現代価格体系論序説』
A 5 二二九頁 “ 昭・40・11
- 別冊 篠原三代平編『地域経済構造の計量的分析』
A 4 三三八頁 “ 昭・40・12
18. 小原 敬士『ヴェブレンの社会経済思想』
A 5 二二二頁 “ 昭・41・3
19. 伊東 政吉『アメリカの金融政策』——その論争点の分析——
A 5 二二四頁 “ 昭・41・3
20. 佐藤 定幸『米国アルミニウム産業』——競争と独占——
A 5 一五四頁 岩波書店 昭・42・3
21. 宮鍋 幟『ソヴェト農産物価格論』
A 5 一四二頁 “ 昭・42・3
22. 江見 康一・溝口 敏行『個人貯蓄行動の国際比較』
A 5 一五四頁 “ 昭・43・3
23. 梅村 又次『労働力の構造と雇用問題』
A 5 一九九頁 “ 昭・46・3
24. 山田 秀雄『イギリス植民地経済史研究』
A 5 二〇四頁 “ 昭・46・3
25. 南 亮進・尾高煌之助『賃金変動』——数量的接近——
A 5 二二四頁 “ 昭・47・3
26. 都留 重人『公害の政治経済学』
A 5 二二二頁 “ 昭・47・4
27. 溝口 敏行『台湾・朝鮮の経済成長』——物価統計を中心として——
A 5 一八〇頁 “ 昭・50・3
28. 野々村一雄『コメコン体制』——社会主義的国際経済協力の研究——
A 5 二二五頁 “ 昭・50・7
29. 大野精三郎『歴史家ヒュームとその社会哲学』
A 5 二七六頁 “ 昭・52・1
30. 松田 芳郎『データの理論』——統計調査のデータ構造の歴史的展開——
A 5 一九六頁 “ 昭・53・9

31. 刈屋 武昭『回帰分析の理論』
A 5 二七三頁 " 昭・54・3
32. 富沢 賢治『労働と国家』——イギリス労働組合会議史——
A 5 二五六頁 岩波書店 昭・55・4
- へ、『欧文経済研究叢書』
1. 大川 一司 The Growth Rate of the Japanese Economy since 1878
A 5 一五〇頁 紀伊国屋書店 昭・32・3
2. 都留 重人 Essays on Japanese Economy
A 5 一四一頁 " 昭・33・3
3. 高橋長太郎(等) Dynamic Changes of Income and its Distribution in Japan
A 5 一八二頁 " 昭・34・3
4. 山田 美 Theory and Application of Interindustry Analysis
A 5 一五四頁 " 昭・36・3
5. 篠原三代平 Growth and Cycles in the Japanese Economy
A 5 二四九頁 " 昭・37・3
6. 江見 康一 Government Fiscal Activity and Economic Growth in Japan, 1868—1960
A 5 一八六頁 " 昭・38・3
7. 伊大知良太郎 Measurement of Consumer Price Changes by Income Classes
A 5 六八頁 " 昭・39・3
8. 石川 滋 Economic Development in Asian Perspective
A 5 四八八頁 紀伊国屋書店 昭・42・3
9. 都留 重人 Essays on Economic Development
A 5 二五七頁 " 昭・43・3
10. 野々村一雄 Essays on Soviet Economy
A 5 一七八頁 " 昭・44・3
11. 篠原三代平 Structural Changes in Japan's Economic Development
A 5 四五五頁 " 昭・45・3
12. 溝口 敏行 Personal Savings and Consumption in Postwar Japan
A 5 三〇一頁 " 昭・45・3
13. 大川 一司 Differential Structure and Agriculture: Essays on Dualistic Growth
A 5 一九八頁 " 昭・47・3
14. 南 亮進 The Turning Point in Economic Development: Japan's Experience
A 5 三三〇頁 " 昭・48・3
15. 藤野正三郎 A Neo-Keynesian Theory of Income, Prices and Economic Growth
A 5 一〇六頁 " 昭・50・3
16. 倉林 義正 Studies in National Economic Accounting

17. 江見 康一 Essays on the Service Industry and Social Security in Japan A 5 三三三頁 “ 昭・52・3
(Bibliographical Series, No. 2)

18. 津田 内匠 Richard Cantillon Essay de la Nature du Commerce en General A 5 一八六頁 紀伊国屋書店 昭・53・3
“ Author and Subject Indexes to the Economic Journal, 1941~1956”(1957)
(Bibliographical Series, No. 3)

19. 石川 滋 Essays on Technology, Employment and Institutions in Economic Development A 5 四三三頁 “ 昭・54・3
“ Indexes alphabetiques des auteurs et des sujets de la Revue d'Economie Politique, 1940~1956”(1957)
(Series Bibliographiques, No. 4)

2. 宇津木 正 “ Author and Subject Indexes to the Review of Economic Studies, 1933~1955”(1956)
3. “ Author and Subject Indexes to the Economic Journal, 1941~1956”(1957)
4. “ Indexes alphabetiques des auteurs et des sujets de la Revue d'Economie Politique, 1940~1956”(1957)
(Series Bibliographiques, No. 4)
5. 八巻 滋 経済研究所蔵 雑誌目録 昭和三十四年(一九五九)十月末現在
6. 資料室 経済研究所蔵 アジア文献目録(欧文の部)(一九六〇)
7. 阿曾 福円 『経済研究』著者別総索引 第一巻一号~第十一巻二
号(一九六〇)
8. 八巻 滋 経済学雑誌総合目録 昭和三十五年(一九六〇)四月末現在
9. 常川 静子 経済研究所蔵雑誌目録(和文編) 昭和三十七年
清水 昭平 (一九六二)十二月現在(一九六三)
10. 常川 静子 社会科学雑誌総合目録 昭和三十八年(一九六三)
十二月末現在(一九六四)
11. “ 経済研究所雑誌目録(欧・露文編) 昭和四十年(一九六五)十二月末現在(一九六五)

資料 篇
ト、『経済解説統計』

本研究所創立十周年記念出版物として、研究所員全員の共同編集により、昭和二十八年七月出版。 A 5 二〇七頁 岩波書店
創立二十周年記念出版物として『解説日本経済統計』を『経済研究叢書』別冊として昭和三十六年一月出版。 B 5 一九二頁 岩波書店

チ、『特殊文献目録』

既刊分は次の通りである。

1. 宇津木 正 “ Author and Subject Indexes to the American Economic Review, 1941~1954”(1955)
(Bibliographical Series, No. 1)

155

12. 常川 静子 中国・朝鮮関係所蔵雑誌目録 昭和四十年（一九六

五）十二月末現在（一九六六）

13. 宮地 幹夫 経済研究所所蔵“ПРОБЛЕМЫ ЭКОНОМИКИ.

石川 清美 一九二九—一九四一 総目次（一九七〇）

14. 小林 清美 経済研究所所蔵“ПЛАНОВОЕ ХОЗЯЙСТВО.

一九二二—一九四〇 総目次（一九七二）

15. “ 経済研究所所蔵“ПОД ЗНАМЕНОМ МАРКСИЗМА.

一九二二—一九四四 no. 4/5” 総目次（一九七三）

16. “ 経済研究所所蔵“ЭКОНОМИЧЕСКОЕ ОБОЗРЕНИЕ.

一九二二 no. 1—一九三〇 no. 3” 総目次

17. “ 経済研究所所蔵“СОЦИАЛИСТИЧЕСКОЕ ХОЗЯЙС-

ТВО, 一九二二—一九三〇 кн. 3” 総目次

18. 金沢 幾子 経済研究所所蔵雑誌目録（欧・露文編）昭和四十

年（一九七四）十二月末現在（一九七五）

資料室 奨学財団寄贈図書目録 昭和三十六年（一九六一）

資料室 家計調査資料目録（一九六八）一橋大学統計資料整

備センター共編

リ、『資料調査室シリーズ』資料調査室

1. 一〜三 津田 内匠：チュルゴの蔵書目録—フランス国立図書館

所蔵の草稿による—（一九七四）

又、『統計調査』統計室

1. 浜田 宗男：台湾の杜史調査—統計表を中心とした—

常川 静子（一九七〇）

ル、『加工統計シリーズ』統計室

1. 溝口 敏行：農家経済調査の補正 その一、その二（一九六七）

2. 倉林 義正：国民勘定の国際比較、一九五一〜一九六一（一九六八）

3. 尾高煌之助：台湾官業の雇用と賃金、一八九七〜一九三八（一九六九）

4. 篠原三代平：台湾鉱工業生産額の推計、大正一年〜昭和十五年（一九六九）

5. 南 亮進：農業經常財投入額の府県別推計、一九〇五〜一九四〇（一九七〇）

6. 石川 滋：台湾農業生産額の推計（産出シリーズ）、一九〇五〜一九六七（一九七〇）

7. 尾高煌之助：日本統治下における朝鮮の雇用と賃金 付：関東州の雇用と賃金（一九七一）

8. 石川 滋：台湾農業生産額の推計（投入シリーズ）、一九〇五〜一九六七（一九七二）

9. 溝口 敏行：戦前台湾・朝鮮の物価資料(1)（一九七二）

10. 江見 康一：台湾の財政における資本形成 (一九七三)
11. 石川 滋：朝鮮農業生産額の推計、一九一〇～一九七〇(その一：戦前の部) (一九八〇)
12. 伊東 政吉：米国経済統計集(一) (一九七三)
13. 溝口 敏行：戦前台湾・朝鮮の物価資料(一) (一九七四)
14. 南 亮進：農業生産額の推計、一九一五～一九四〇 その一、その二 (一九七五)
15. 溝口 敏行：台湾の財政の分析、明治三一年度～昭和三三年度 (一九七五)
16. 江見 康一：所得分布統計、昭和三二年～四八年 その一：基礎統計資料 (一九七五)
17. 江見 康一：府県別歳入水準の推移、昭和一～四八年(一九七七)
18. 尾高煌之助：旧三菱重工の労働統計：明治一七年～昭和三八年 付：機械工業の労働統計抜萃 (一九七八)
19. 江見 康一：所得分布統計、昭和二二年～四八年 その二：(一)基礎統計資料(つづき) (二)所得分布の不均等度に関する諸係数の計算値 (一九七八)
20. 梅村 又次：共武政策・徴発物権一覧表(項目別・道府県別集計) (一九七九)
21. 溝口 敏行：朝鮮の財政分析、明治三八年度～昭和一三年度 (一九七九)
22. 溝口 敏行：旧植民地の財政分析 その一 南洋庁 大正二一年度～昭和一四年度 (一九八〇)
23. 溝口 敏行：旧植民地の財政分析 その二：樺太庁 明治四〇年度～昭和一六年度 (一九八〇)
24. 石川 滋：朝鮮農業生産額の推計、一九一〇～一九七〇 その二：戦前・戦後の接続の部 (一九八〇)
25. 溝口 敏行：旧植民地の財政分析 その三：関東庁(本局) 明治四〇年度～昭和一七年度 (一九八一)
26. 溝口 敏行：旧植民地の財政分析 その四：関東庁(地方局) 明治四〇年度～昭和一七年度 (一九八一)
- マ、『プログラム・ライブラリー』電子計算機室
1. 野島 教之：デیفュージョン・インデックス、標準化指数 (一九七〇)
2. 野島 教之：回帰分析、移動平均 (一九七二)
3. 野島 教之：センサス局法 IX-10, EPA X-4C, 薄田 堯明 時系列データのグラフ (一九七二)
4. 野島 教之：MITI法II、線型関係式の係数の同等性の検定 池田 陽子 (一九七三)
5. 野島 教之：二段階最小二乗法、判別分析 杉山 文子 (一九七三)
6. 倉林 義正：経済研究執筆予定表作成のためのプログラム 野島 教之 (一九七四～一九七五)
- 杉山 文子 実験(その一、その二、その三) 有田富美子
- 有田富美子：実対称行列の固有値および固有ベクトルを求めるた

- めのプログラム (一九七四)
- 倉林 義正・A System Approach to the Statistics of Retail and Wholesale Trades as Micro-Data Sets (一九七四)
- 杉山 文子・正準相関分析のためのプログラム (一九七四)
- 倉林 義正・The Data Base for the Analysis of Non Profit Private Institution (一九七五)
- 松田 芳郎
8. 松田 芳郎・企業統計データ・ファイル用プログラムI (財務諸表加工プログラム) (一九七六)
- 野島 教之
- 松田 芳郎・所得分布データ・ベース検索システム (一九七六)
- 杉山 文子
9. 有田富美子・経済分析用プログラム (一九七八)
- 有田富美子・経済分析用プログラム SPIER 説明書 (一九八〇)
10. 電子計算機室・電子計算機利用の手引 (ACOS77NEAC システム 四〇〇) (一九八〇)

ワ、『データ・リスト』電子計算機室

1. ストック・データのファイル形式 電子計算室 (一九七二)
2. Series of GDP by Expenditure for Developing Countries, 1958—1967 (倉林義正、杉山文子) (一九七三)
3. HISTORICAL STATISTICS OF JAPANESE FIRMS' ACTIVITIES—A Prelude to Compile a Data Base of Balance Sheets of Sugar Mannu-

- facturing Firms, 1906—43—(松田芳郎、野島教之、大井博美) (一九七六)
4. Data Base for the Studies on Income and Expenditure Distribution — An Example for the FIES Data — (溝口敏行、杉山文子、松田芳郎、野島教之、寺崎康弘) (一九七八)
5. Data Base for the Studies on Income and Expenditure Distribution ② (溝口敏行、杉山文子、松田芳郎、野島教之、寺崎康博) (一九七九)
6. 南洋庁、南樺太庁統計書データ・ベース (溝口敏行、野島教之) (一九八〇)
7. 新SNA関連データ・ベース所収データ・リスト電算機室 (一九八一)
8. 関東大地震被災事業所関連データ・ベース (電子計算機室) (一九八二)

2 センター刊行物

イ、特殊文献目録・索引

- 郡是町村調査書所在目録 (特殊文献目録シリーズ1) 昭・39 九九頁
- 府県勲業年報所在目録 (特殊文献目録シリーズ2) 昭・41 九六頁
- 一橋大学所蔵 明治以降本邦経済統計調査 マニュアル目録 (第一